

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	生徒指導支援事業			事業番号	038-054
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	生徒指導 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(3) 多様性を尊重した教育の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	②いじめへの対応強化と不登校児童生徒への支援		
			有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(4)質の高い教育をみんなに	ターゲット	4.5
		寄与するKPI	有	取組	不登校、いじめの防止に向けた取組の強化		
			有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	■堺市教育大綱、第3期未来をつくる堺教育プラン		
3	事業開始年度	平成 11 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	■学校教育法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	■本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	■市立学校園の幼児児童生徒(6.4万人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	■子ども自身が自らの身を守るための知識や実践的な方法を学び、いじめの未然防止や早期発見、解決を図る。また、生徒活動リーダーを育成することを目的とする。学校で発生するいじめの現状や対応を把握するとともに、学校に対し、いじめ問題の解決に向けて相談・指導助言等の支援を行う。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> ■SAFEプログラム：小学校低学年担当教員を対象に動画研修を実施し、学校で実践する。 ■いじめ・暴力防止（CAP）プログラム：原則小学校4年もしくは5年の学級及び一部の中学校を対象に実施する。 ■生徒会活動リーダー養成宿泊指導：中学校生徒会活動の代表者を対象。 ■いじめ巡回相談員：学校を定期的に巡回相談し、いじめ問題の早期発見・解決に向けて学校のいじめ対応の把握と相談、指導助言を行う。また、ケースにより「いじめ対策チーム」を学校に派遣する。 ■いじめ防止等対策推進委員会：教育委員会の附属機関として、いじめ防止等の取組に関する諮問に答申すること。調査機関として重大事態の調査を行う。 ■デートDV防止研修：教職員向け研修を2回実施し、性被害予防教育を推進していく。 ■SNS等を活用した相談窓口の構築。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	■NPO法人 えんばわめんと堺/ES
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 不登校生徒出現率	%	目標値	3.65	3.94	全国平均値	全国平均値
		実績値	3.08	集計中		
		達成率	116%	-		
当該指標を選定した理由		■安全安心な学校を評価する指標だから。				
目標値の設定根拠・算出方法		■全国的に増加傾向であるため、全国平均値以下をめざす。(最新の情報を目標値として設定)				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 いじめ・暴力防止（CAP）プログラム実施学級数	学級	目標値	254	259	259	
		実績値	253	258		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		■全希望中学校で実施するうえで、必要な指標であるから。				
目標値の設定根拠・算出方法		■堺市基本計画の生徒指導支援の充実において取組目標の指標				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	生徒指導支援事業	事業番号	038-054
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
		決算	決算	予算	決算	予算
13	財源内訳					
	国支出金	3,531	3,928	6,092	5,992	2,674
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	22,957	22,885	35,147	25,443	27,474
14	人件費 (b)	1,640	1,620	1,640	1,640	3,280
15	年間経費(c)=(a)+(b)	28,128	28,433	42,879	33,075	33,428

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源	
		R2	R3	決算	予算			R2	R3	決算	予算		
16	いじめ防止等対策推進委員会等委員報酬	R2	決算	7,150	7,150	7,150	ネットいじめ防止プログラム実施業務	R2	決算	8,520	8,520	8,520	
		R3	予算	5,518	5,518	5,518		R3	予算	0	0	0	
		直接対応弁護士派遣・研修会講師謝礼金	R2	決算	562	562	デートDV防止啓発冊子作成業務等	R2	決算	600	600	600	600
			R3	予算	4,351	4,344		R3	予算	670	670	670	
		いじめ巡回相談員等出張旅費	R2	決算	7	7	いじめ・暴力防止プログラム実施業務	R2	決算	7,518	7,518	7,518	7,518
			R3	予算	309	309		R3	予算	8,547	8,547	8,547	
		いじめ対応チェックシート等印刷製本費	R2	決算	804	804	SNS等を活用した相談体制構築事業	R2	決算	5,992	0	5,992	0
			R3	予算	359	359		R3	予算	8,000	5,333	8,000	5,333
いじめ防止等推進委員会音声反訳	R2	決算	115	115	その他(会場借上料・性暴力加害者プログラム等)	R2	決算	167	167	167	167		
	R3	予算	1,650	1,650		R3	予算	744	744	744			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
		千円	千円
①	いじめ・暴力防止(CAP)プログラム実施学級数	253	258
②	上記①にかかる年間経費	7,733	7,682
③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	30,565	29,775
備考(算出についての説明等)		いじめ・暴力防止(CAP)プログラムの学校での実施にかかる経費、人件費10%	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<ul style="list-style-type: none"> ■CAPプログラムは目標の学校数、学級数で実施できており、このプログラムを通じ子どもたちがいじめについて学ぶことが、いじめの未然防止や解消に寄与しているものと考えます。 ■集合型研修などができず会場費等が使用されなかった。
----	--

KPI等への寄与(基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> ■CAPプログラムにおいては、堺市全体で実施することで、児童生徒が同じプログラムを学ぶことができ、子どもが本来持っている自分の力を発揮して、いじめ・暴力防止をすることで、いじめを生まない豊かな心の育成という目標の達成に寄与していると考えます。 ■SAFEプログラムを受けた子どもたちが、自身の潜在的な危険を察知する力を発揮し、その危機の中で何が出来るかを考える力を伸ばすことで、子ども自身が自らの身を守るという目標の達成に寄与していると考えます。
----	--